



高松地方気象台長挨拶

改めまして、高松気象台長の内藤宏人です。

高松地方気象台に赴任して1年、香川県を担当する気象台の長として、県内各市町を訪問し首長の皆様から直にお話を伺う機会をいただきました。貴重なお時間をいただき誠にありがとうございました。その際、皆様からは自然災害に対する様々なお考えや取り組みを伺うと同時に、気象台に対するご意見や励ましのお言葉もいただきました。伺ったお話を業務に反映し、ご期待に添えますよう、気象台一丸となり今年度も精進してまいります。



さて、毎度申し上げておりますとおり、近年我が国はほぼ毎年のように甚大な自然災害に見舞われています。令和4年度の例ですと、夏には猛暑と少雨が続き、台風がたびたび接近上陸し、中でも台風第14号は大型で猛烈な強さに発達し、各地に被害をもたらし、香川県沿岸にも一時高潮警報を発表いたしました。また、冬には年末の強い寒気の流入で四国でも大雪に見舞われたところがありました。幸い香川県には大きな被害はありませんでしたが、地球温暖化により年々地球規模で様々な災害リスクが高まっている現状では、ここなら安全という思い込みは通用しません。

これに対し、気象台では、市町の避難情報の発令や県民の皆様の避難の判断にご活用いただくべく、防災気象情報を提供しています。技術の進歩により気象の予測精度は年々確実に向上しています。また、大雨による危険度が高まっている場所を地図上で分かりやすくお知らせするキキクルをはじめとしたツールの充実も図っています。しかし、新しい情報が増えると、かえって何をどう使えばよいか分かりにくくなったというご意見も伺います。気象台では、スマホの普及など昨今のデジタル化の進捗を踏まえて、ホームページの解説コンテンツを充実するとともに、気象台の行う出前講座や、自治体やマスコミの皆様との連携などにより、これらの普及を図って参ります。県民の皆様におかれましては、これらの取り組みをご理解いただき、災害から自らの命を守るためにご活用ください。宜しくお願い申し上げます。



プロフィール

氏名 内藤宏人 (ナイトウヒロヒト)

出身 岡山県

生年 昭和39年(1964年)

職歴 平成元年4月 入庁

平成28年4月 福井地方気象台長

平成30年4月 長野地方気象台長

令和2年4月 京都地方気象台長

令和4年4月 現職

趣味 その土地の美しいものおいしいものを探ること
香川県のお気に入りは、うどん、海と島